

私は安心して暮らしたいの！



有料老人ホームサンハイツ富士見

井上洋子

Yさんの自分らしさ

- Yさん 82才
- 病歴・脳梗塞、糖尿病、頸椎症、心臓弁膜症
- 介護3
- 四国に生まれる。3才の時母死亡。
父に育てられる。
- 20才の時長崎へ。

グループホームに居を移してから

- エルと一緒に真っ先に入居して、2番目に入った男性とはとても仲良く穏やかにユーモアいっぱいの語らいをしていた。
- しかし気の強い、合わない人が入居したときからだんだんYさんらしさは「壊れてきた」
- もともと一人で頑張ってきたYさんは、ここで目いっぱい自分を出して言い争った。

人を避けて・・・

- 広いテーブルにどっかと座ってにこにこしていたYさんはだんだん人を避けてきた。

事務所が居場所になって

- 「奥さん・・・」とくるYさんは安心して思い出話しをする。お父さんと浜辺でご飯を炊いた話をした。塩をゆでる釜にバケツを入れて炊いたご飯のまるで絵本のような話だった。ここでゆっくり夕食を食べて帰っていたが・・・

「ここ」に来たから変になった！

- Yさんのこの頃の口癖だった。「ここに来たから・・・」の言葉には妙に納得した。

身体不調・・糖尿病の増悪

入院中せん妄が出て、早めの退院となる。

もう一度生活を見直そうと、

住んでいた町を訪ねる。

その時のYさんには穏やかに、

にこやかな会話があった

これに驚いた職員は・

ケアプランの見直し

- ・ なくした「地域での暮らし」をもう一度創ろう
- ・ もっと地域へ出ていこう
- ・ ご近所のお店の方に話しかけながら・・・
- ・ 歩くことを目的に、ご近所を取り込もう・・・

専門家の助言を

- ここにきてやっと精神科にたどり着く
- 受診..

精神科受診したことは..

- 職員が相談出来る場所が出来、大きな安心を覚えた。
- 心にゆとりを持つことが出来た。
- Y氏の診断は..記憶障害はあるが、意志疎通は出来る。寂しさが根底にある。被害妄想・物取られ妄想がある。

デイケアに通う

- 始めは週3回デイケアに通うことになった。
 - Yさんは喜んで行く。エルとも笑顔でしばしの別れを惜しむが「いっていらっしやい！」「おかえり！」の日々のリズムができてきた。
- ★環境を変えることによって、自分を取り戻すきっかけが出来たのではないだろうか。

Y氏のターミナルケア



- ガンの診断は出たが、重症の心不全があり、手術が出来ないという診断が出た。
- 御家族は、「Yさんらしく日々を送らせたい」



Yさんのケアを振り返って..

☆環境..人、物..に馴染めない

居場所がない..

Yさんの想いを職員全体

で共有できなかった、

心理的な支援の不足...

認知症ケアに必要な物

- 理念
- 職場検証
介護の力を知る

理 念

☆理念を実践するためには

1. リーダーシップ
2. 教育を受けた職員がいる
3. 理念の共有

理念の具現・・

- 例えば・・自己決定という理念があれば
介護の現場では
具現はどんなこと・・？

心と技術

- 介護にはまず心が必要
- 心を育てる為に、どんな手だてがありますか？

一人ワーク！
いくつか考えましょう……！！

認知症とは・・

- 認知とは・・今の自分の状況が理解できる
- 認知症とは・・今の自分の状況がわからないこと・・



要子さんの場合

- 要子さんは歩く・・・
- 朝から手提げ袋をもって外出
- デイサービスのお迎えは頭がない
- 暑いのにしっかり着込んでいる



出ていく理由は・・・

- ご飯がない・・・買い物して何かを作ろうと・・・
- 近くのお店(スーパー)から閉め出される
- お金を出し入れを忘れている・・・買い物の「手順」を忘れている。
- 結果「ドロボー」となる
- 結果「歩いて・・・歩いて・・・」

徘徊・・・



共用デイサービスの登場

- ・ 2006年から始まったグループホームの居室空間でのデイサービス。

居場所を見つけて..

- ・ お仕事も今までやってきた家事を中心に
- ・ 記憶はないが体が覚えている
- ・ 自分の「家」に似た場所
なじみがある場所

社会参加・・・地域とのお付き合い

- 公園掃除、買い物の行き帰りでのご挨拶
- 自治会行事・・・餅つき大会、夏祭り
- お店のレジのお姉さんもわかって下さる
「待つ」事が出来始めた

- しかし、要子さんの買い物はお店が拒否続ける・・・
入口に入れてもらえない。それにデイのお迎えの
前に家を出ていくことが多くなってきた。

お迎えの時間を調整

- 要子さんが朝ご飯を食べたい・・・
と思うまえにお迎えに行ってみよう。
- 8時45分では遅い
8時にいこう
- 職員の勤務時間調整

要子さんの暮らしに変化・・・

- デイサービスの帰りにおにぎりをもって帰ることで、夕方の外出は止めることが出来た。
- グループホームで料理をすることで、家に帰ってヘルパーさんと一緒に出来るようになった。

認知症の人が地域で暮らす工夫

◎地域の人に理解していただく努力

地域の商店街を利用する

自立を支援できる

◎御家族の理解と覚悟・・・家族支援に

個人情報はどうするか・・・

これからのケアは・・・行動する

環境を整え自立(自律)支援を

- ◎地域の方に、認知症を理解していただくための努力をしていくこと
- ◎権利擁護 財産管理 遺言作成・・・

権利擁護・・・

- 権利擁護事業を利用しているかた1名
財産管理(弁護士)1名

これからのケアは・・・

◎パーソンセンタードケア

- ・その人中心のケア「その人らしく」を大切にしていきたい・・・その方に合わせたケア

よほどの覚悟が必要！

最後にもう一つ

- ・ 理念(信仰に近いほどの情熱を持って維持)

ビジョナリー・カンパニー 時代を超える生存の法則 より

- ・ リーダーシップを
- ・ 理念の共有・・・具現化・・・実践
- ・ そしてなによりも
職員の教育



職場検証・・

- まず認知症ケアを理念に基づいてケアをするまえに・・
認知症ケアを行える「場」づくりが重要